

# 競技注意事項

## 1 規則

本大会は2017年(財)日本陸上競技連盟規則並びに本大会申し合わせ事項によって実施する。

## 2 競技場について

- ・本競技場は全天候舗装である。トラックの厚さは約13mmである。フィールドは約18mmである。走路の保全と競技者の安全のために、競技規則143条を参照されたい。
- ・競技場の開門時間は1日目7時30分、2日目7時00分の予定とする。開門前の入場を禁止する。

## 3 練習について

- ・練習は補助競技場で行うものとする。※公園内や駐車場等での練習は厳禁。
- ・跳躍種目、投擲種目の練習は競技開始40分前から、競技場内で競技役員の指示により行う。
- ・練習は競技役員の指示に従い、危険防止に注意する。

## 4 招集

- ・招集場所は、100mスタート付近のスタンド下に設ける。
- ・招集に遅れた者は、棄権とみなし出場を許さない。
- ・招集時刻はつぎの通りである。
  - トラック種目(リレー種目を除く)・・・競技開始50分前から20分前まで
  - フィールド種目・・・・・・・・・・・・・競技開始70分前から40分前まで

### 招集要項

- ①選手は出場種目の招集完了時刻までに、招集所にてナンバーカードを付けたユニホームを持参し競技者係にチェックを受ける。
- ②選手は競技開始10分前に、各競技場所にて最終点呼を受ける。
- ③代理人による最終点呼は認めない。ただし、2種目を同時に兼ねて出場する選手はその事を本人または代理人が競技者係および出発係に申し出て了解を得る。

## 5 ナンバーカード

- ナンバーカードのナンバーは登録番号とし、顧問総会で配付した数字サンプルを使用して各自で作成(男女共に黒)して2枚をユニホームの胸と背に結着すること。ただし走高跳、棒高跳は1枚を胸または背に結着するだけでもよい。
- ※トラック種目は、招集場所で腰につけるレーンナンバーカードを渡されるので、右腰に結着する。フィニッシュ後、係に返却すること。
  - ※男子5000m・女子3000m・男女5000mWについては、招集場所で特別ナンバーカードを渡されるので、これを結着する。フィニッシュ後、係に返却すること。

## 6 トラック競技の組走路順、フィールド競技の試技順について

- ・トラック競技予選の組走路順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選しプログラムに示す。
- ・トラック競技決勝の組走路順は本部で抽選し、招集所横に掲示する。
- ・800mについては、100mまでセパレートレーンとする。5000m、3000mは段差スタートとする。
- ・最高記録を参考にして番組編成をしたため同一組に同じ所属校の選手が入る場合がある。

## 7 リレー競技について

- ・リレー競技に出場するチームは、リレーオーダー用紙を作成し競技開始1時間前までに招集所に提出する。(リレーオーダー用紙は招集所で配付)
- ・リレー競技においては、チームの出場者は同一ユニホームを着用する。
- ・4×100mRでは1人1ヶ所に限りマーカーを使用することができる。

## 8 計時

- ・すべてのトラック種目について電気計時(1/100)で行う。
- ・各種目の競技結果は、アナウンスのほか100mスタート後方の掲示板に掲示する。
- ・5000mWは40分、男子5000mは20分、女子3000mは15分で競技を終了する。

## 9 トラック競技の決勝進出・順位決定について

- ・次のラウンド決定において、最下位で同タイムの競技者が出た場合は写真判定を細部まで読み取り優劣を判定する。その際、1000分の1秒以上の差があれば優劣を判定する。ただしそれでも判定できない場合は抽選とする。
- ・1500mの決勝は15名で行う。但し、15位で同タイム同着順の競技者が出た場合は、対象者すべてを決勝に進出させる。
- ・タイムレース決勝の種目において、異なる組で同タイムが出た場合は決勝では同順位とする。
- ・100m、200m、400m、4×100mR、4×400mRはA(上位1～8位)、B(上位9～16位)での決勝2組を行う。
- ・5000m、3000mSCはタイムレース決勝で行う。

## 10 スタートについて

競技規則第162条によって、1回目の不正出発で失格とする。

## 11 フィールド競技について

- ・走幅跳、三段跳においてAピットはトラック側、Bピットはスタンド側とする。トップ8はAB各ピットで行う。
- ・フィールド競技の計測ライン及びバーの上げ方は、各審判主任の指示によるものとする。各種目最終点呼時に確認されたい。

## 12 競技用用具について

競技に使用する用器具は、主催者が用意したものを使用しなければならない。ただし、棒高跳用ポール、砲丸、円盤、やり、ハンマーについて検査を受け承認されたものに限り個人所有のものが使用できる。

(検査は、各種目競技開始1時間前までに用器具庫前にて行う。 ※検査時間は競技順序を参照。)

## 13 表彰

各種目3位まで賞状を授与する。入賞者は本部に賞状を取りにくること。(※ B決勝は対象外とする。)

## 14 抗議

競技規則146条によって行う。(予選は正式通告後15分以内・決勝は30分以内)

## 15 その他

- ・競技場内への選手の携帯電話等の通信機器やCD・MD等の類似機器の持込は禁止する。(競技規則144条)
- ・競技会で発生した傷害については主催者側で応急処置をする。
- ・プログラムに誤りがある場合には本部総務まですみやかに連絡する。
- ・参加各校の顧問は、競技役員または補助役員を行う。
- ・競技開始30分前までに参加各校より1名以上の補助員を出し、本部前にて受付を行う。
- ・各校補助員以外の生徒も競技開始前の準備に積極的に協力する。
- ・本大会について不明な点がある場合には、顧問または生徒の代表が本部総務まで問い合わせる。
- ・競技終了後、スタンド等にゴミを残さないよう自席の清掃をする。
- ・本競技場スタンドでのテントの張り出しは禁止する。メインスタンドでの部旗、横断幕等の張り出しは禁止する。
- ・競技運営に支障をきたす応援はつつむ。  
(特にフィールド競技中のグループ応援等、また競技場内での付添い及び応援は一切禁止する。)
- ・更衣室は更衣のみに使用し、通路等にもシート等を敷くことを禁止する。
- ・競技場内に商品名、会社名のついた物を持ち込むことは、アマチュア資格に抵触するので厳につつむ。
- ・貴重品は各自で保管し、紛失には十分注意する。
- ・本部裏の通路については通行の妨げになるので占有しない。
- ・参加顧問の先生方は全国高校年鑑(2300円・税込み)を購入していただきますので、ご用意ください。
- ・ゴミについては各自持ち帰りを原則とします。

### ☆学校受付について

各参加校の引率顧問の先生方は大会1日目8:00~8:30、2日目7:30~8:00の間に本部審判受付にて学校受付を行ってください。

※顧問の引率がない場合は、高体連試合参加規定の通り選手の出場は認められません。

### ☆安全対策について

- ・競技会に参加の競技役員、選手、補助員以外はトラック、フィールドに立ち入らない。
- ・本競技場、サブトラックでは決められたレーンを守り常に安全確認を怠らない。  
(※1, 2, 3レーンは周回練習に使用し5, 6, 7, 8レーンはスプリント練習等で使用する。状況によって変更の指示があります。)
- ・周囲の安全を確認し、審判員・顧問の指示に従い事故防止を何よりも優先する。
- ・トラック、フィールドともに横断する際には周囲の安全確認をおこなう。
- ・ウォーミングアップの際、事故防止の為に、必要な声の掛け合いをおこなう。
- ・投てき物を持った状態での空ターンや助走練習は、公式練習以外では行わない。
- ・投てき物(やり等)の回収の際も周囲の安全に十分に配慮すること。
- ・チューブやメディシンボール等を使用しての練習は安全面から行わない。

神奈川県高等学校新人陸上競技大会の混成競技に出場するためには「混成競技事前資格審査」を受ける必要があります。「混成競技事前資格審査」は専用の「混成競技事前資格審査用紙」を県立横浜国際高校 山崎まで郵送(速達等)でお送りください。7月20日(木)必着(詳しくは大会要項をご覧ください。)